



上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

大船山

第 17 号
令和 5 年 1 月 10 日

ホームページ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

個々の力を合わせて飛躍の一年に

校長 細江 幸次

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

14日間の冬休みを終え、令和4年度3学期がスタートしました。令和5年1月もすでに10日が過ぎ、ほぼ日常の生活に戻っていることと思います。現在の学年での学校生活も残り2か月半ほどとなり、学年のまとめをしながら、次の学年や学校生活の準備を進めていく段階に入ります。コロナ禍第8波に加え、インフルエンザの流行も懸念されていますが、子どもも大人も健康管理には十分留意して、締めくりの時期を有意義に過ごしていきましょう。

今年の干支(えと)は「癸卯(みずのとう)」。これまでの努力が実を結び、勢いよく成長して飛躍するような年になると考えられています。また、過去の卯年の出来事として、「大阪に日本初の横断歩道橋完成」「山陽新幹線開業」「東映太秦映画村開村」「東海村核燃料加工会社で国内初の臨界事故」「大手金融機関の再編」「欧州新通貨(ユーロ)誕生」「東日本大震災」等々があり、一時代の終わりや始まりを告げる出来事が多いとされています。そのような観点から上矢作小学校のことを重ねて考えてみると、新年度より本校初の複式学級が誕生することになります。現状では令和9年度にすべての学年が複式学級になることを考えると、ある意味新しい上矢作小学校の始まりともいえます。少子化の影響で学校の小規模化が年々進んでいきますが、その分、個々の実態を的確につかみ、個に応じたきめ細かな指導・支援をより充実できるというメリットを最大限に生かし、日々の教育活動を進めていきます。

また、個への指導・支援に加えて、日常ともに生活する仲間との関わり、集団づくりにもより一層力を注いでいく必要があります。関わる仲間の数が少ないからこそ、意図的に社会性を育む教育活動が大切になってきます。幼い時からともに生活しているから、「言葉で伝えなくてもわかってもらえるはず」というような無形なものを期待するのではなく、親しい中においても挨拶やお礼などを相手にわかるようにきちんと伝えることや、自分の気持ちや考えを言葉でわかりやすく周りに伝えていく日々の積み重ねをより一層重視していく必要があると考えま

す。個々の達成感、成就感の醸成とともに、仲間と一緒に何かをなしえたという集団としての喜び、集団の一員としての喜びを感じる所属感を体感することも大切な経験となります。

まだ可能性を秘めている小学校段階の子どもたちの未来の姿は誰にも予想できません。恵那、上矢作にとどまって地元大きく貢献するのよし、もっと広い世界に飛び出してもっとたくさんの方々に関わり、その人たちの役に立てるようになるのよし、どのような世界に進んでも様々な人と関わっていくための素地・土台だけはつくっておく必要があると思うのです。



全校近影



12月22日(木)に恵那市社会福祉協議会上矢作支部の方にご来校いただき、児童会が中心となって行った歳末助け合い運動で募金していただいた浄財(最終5,612円)をお渡しすることができました。ご協力ありがとうございました。

Topic

■芸術鑑賞会

12月1日(木)、4～6年生が恵那文化センターまで出かけ、芸術鑑賞会に参加してきました。今年度は「TAP DO!」という団体による、タップダンスやジャグリングをはじめとするパフォーマンスを鑑賞してきました。テレビやYouTube等のメディアを通して見たことはあっても、恐らく大半の上矢作っ子は生で見るのは初めての体験だったと思います。軽快なリズムの演奏に合わせて身体が動いてしまったり、息をのむようなパフォーマンスに思わず「頑張って!」と声援を送ってしまうような場面もあり、臨場感たっぷりのステージを楽しんでくることができました。

■スケート教室

12月8日(木)、全校でクリスタルパーク恵那まで出かけ、スケート教室に行ってきました。毎年実施している教室ですが、年1回とあって滑り始めはどの上矢作っ子も恐る恐る感触を確かめながらという感じでした。しばらくすると高学年、中学年の多くの上矢作っ子は滑るコツを思い出し、スケートを楽しむことができました。今年初めて恵那市出身のスケート選手が世界大会に出場することもあり、地元の期待が高まっています。世界の舞台で活躍する人が地元から出てくることは、特にスケートに関わっていない私たちにも大きな励みにもなります。次世代を担う現在の小・中学生にも失敗を恐れずどんどんチャレンジして欲しいです。



上級生に補助をしてもらって



リンクを悠々と滑る高学年

■ひびきあい集会

12月23日(金)、ひびきあい集会を行いました。11月25日(金)の人権集会を受けて、各学級で仲間とのかかわりについて話し合い、次のような思いやり宣言をしました。

- * 1年生:「なかまのことを かんがえて こうどうします。」
- * 2年生:「なかよしの クラスに なります。」
- * 3年生:「相手のことを考えよう。」
- * 4年生:「仲間を大切にする。」
- * 5年生:「相手の気持ちを考えて行動・発言します。」
- * 6年生:「人の名前を大切にする。仲間を褒め合おう。」

「ひびきあい」の取組は宣言後も継続していくこと、日常生活の中で絶えず自分や仲間に関わり合いながら、よりよい関係を築いていくことにします。上矢作っ子全員が笑顔で活気に満ちた上矢作小学校をつくっていきましょう。



ひびきあい集会

お知らせ

1月12日(木)に全校一斉に書き初め会を行います。16日(月)の校内審査で金賞作品を決定した後、17日(火)から1月末日まで各教室前の廊下側掲示板に展示しています。その期間中は、8時30分～16時45分まで、いつでも自由にご覧いただけます。学校にお立ち寄りの際に、是非ご覧ください。入口は職員玄関です。

